

# 平成30年度事業報告

本格的な人口減少社会の到来や世帯規模の縮小、単身世帯の増加等の社会構造の変化を背景に、家族や地域の支え合い機能が低下する中、複雑化・多様化する福祉ニーズや社会的孤立、虐待、経済的困窮、貧困の世代間連鎖など従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。

とりわけ、全国を上回るスピードで少子高齢化・人口減少が進行している本県においては、住民自ら地域の福祉課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、活発な住民活動の推進や、これらの課題に福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が協働して解決に取り組むためのシステムづくりが重要な課題となっています。

こうした情勢の中、本会としては、「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」を基本理念とする第4次活動推進計画に基づき、誰もが住み慣れた地域で人や社会とのつながりを持ちながら、必要な支援を受け、自分らしく安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、以下の基本目標のもと、ケアネット活動等の小地域福祉活動の推進やボランティア活動、福祉教育の推進、日常生活自立支援事業、福祉人材確保対策事業など、地域福祉の視点から民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者はもとより、保健、医療、教育等関連分野との連携・協働を図りながら事業を実施しました。

## 【基本理念】 「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」

基本目標1 「あらゆる福祉・生活課題を受け止め、解決に向けて寄りそいます」

基本目標2 「誰もがつながり、支え合う地域づくりをすすめます」

基本目標3 「福祉を担うひとづくりと福祉サービスの向上に取り組めます」

本会が実施した主な取り組みは、次のとおりです。

- (1) 地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）を実施し、「地域見守り相談支援システム」を整備、住民主体による地域福祉推進に取り組む市町村社協への支援や基盤強化に努めるとともに、生活困窮世帯等への総合支援資金、教育支援資金、臨時特例つなぎ資金等各種生活福祉資金の貸付や相談体制の強化を図りました。
- (2) 地域包括ケアシステム推進に向け、地域における「生活支援コーディネーター」の活動状況に関する情報交換会を開催し、今後の課題や情報の共有化を図りました。
- (3) 「富山県東部生活自立支援センター」の運営を受託し、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援等を実施するとともに、市町村社協職員を対象とした事例検討会や多職種連携に向けた協議を行いました。
- (4) 小地域で学校や地域住民、様々な関係機関・団体等が連携して福祉教育を推進していくための「福祉教育サポーター養成確保事業」を実施しました。
- (5) 市町村社協が主体となり「社会福祉法人連絡会（地域協議会）」等を設置して、社協と社会福祉法人・施設が地域の福祉・生活課題を共有し、制度の狭間にある課題解決に向けた協働の取り組みを進めていくために「社会福祉法人地域公益活動推進事業」を実施しました。
- (6) 福祉人材の確保・定着を図るため、新任介護職員のネットワーク形成を目指した合同入職式の実施や中堅介護職員を応援するための表彰、イメージアップ・テレビCMの作成、ラジオ番組による福祉・介護職場の魅力発信、介護職員募集案内冊子の作成・配布等を行いました。

## 【推進項目 1】

### 身近な地域に（生活圏域）における総合相談体制の構築による包括的な支援の提供

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、福祉・生活課題について住民自らが主体的に解決していくことが重要です。しかし、地域には経済的困窮や社会的孤立等を含め多様な課題が多くあり、住民だけでは解決できないものがあります。

また、課題を抱える家族は、高齢者から子ども・障がい者等様々な構成で成り立っていることもあり、家族全体を捉えながら、本人の自己決定を基本におき支援をすることが求められます。そこで、専門職と地域住民の連携とフォーマル、インフォーマルな社会資源の活用や開発を含めた包括的な支援や活動の推進に取り組みました。

## 1 住民のあらゆる福祉・生活課題に対応するための全世代・全対象型の相談体制の構築による包括的な支援の提供

### (1) 小地域（日常生活圏域）における住民主体の助け合い活動の拡充

#### ① 小地域福祉活動推進事業

##### ア 地域総合福祉活動（ふれあい型・ケアネット型・融合型）事業

小学校区をエリアとした、いきいきサロン等福祉コミュニティの振興と要支援者に対する個別援助活動への助成

15 市町村 265 地区で実施、助成総額 30,225,000 円

##### イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業

ケアネット型事業を実施する市町村社協に対しコーディネーター業務費用等を助成  
15 市町村社協で実施、助成総額 31,750,000 円

##### ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業

ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言・支援、ケアネット活動の普及啓発事業等

- ・ ケアネット活動普及啓発事業（パンフレット 4,000 部を作成し、研修会・地区懇談会等で配付）
- ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施  
市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会への講師派遣等を行った。
- ・ ケアネット支援職員配置事業
- ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業

（第 1 回）平成 30 年 7 月 5 日（木）～7 月 6 日（金）

高岡市生涯学習センター 参加者：24 名

高岡市 2 地区（川原校下社協・二上地区社協）の地域アセスメント

（第 2 回）平成 30 年 10 月 11 日（木）

サンシップとやま 参加者：18 名

ケアネット活動コーディネーターの行動記録（支援過程）に基づく事例検討を通じた課題整理と今後の展開方法等の検討

（第 3 回）平成 31 年 2 月 13 日（水）

サンシップとやま 参加者：19 名

ケアネット活動推進のための事例検討と個々の実践に対するコンサルテ

## ーション

- ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会  
平成 31 年 3 月 7 日（木） サンシップとやま  
ケアネット活動推進のための今年度の実施状況評価並びに来年度の計画等の報告及び今後の本事業推進に向けた意見交換・協議を行った。
- ・ ケアネット活動リーダー研修会の開催  
(砺波地区)  
平成 30 年 9 月 6 日（木） 砺波市庄川生涯学習センター 参加者：49 名  
講演「地域共生社会の実現に向けたケアネット活動の展開と今後の方向性」  
講師 富山福祉短期大学 専攻長・准教授 宮嶋 潔 氏  
事例検討  
報告者 砺波市社会福祉協議会 主査 五十里 奈津代 氏  
(新川地区)  
平成 30 年 11 月 8 日（木） 入善まちなか交流施設うらおい館 参加者：75 名  
講演「地域共生社会の実現に向けたケアネット活動の展開と今後の方向性」  
講師 富山福祉短期大学 専攻長・准教授 宮嶋 潔 氏  
事例検討  
報告者 入善町社会福祉協議会 主事 藤井 和美 氏

## (2) 地域における総合相談体制の構築

- ① 生活福祉資金(総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)、臨時特例つなぎ資金の貸付
  - ア 資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより当該世帯の自立を支援  
生活福祉資金貸付決定実績：236 件、22,479,164 円
  - イ 円滑な事業運営を図ることを目的に生活福祉資金運営委員会を開催  
第 1 回 平成 30 年 5 月 15 日（火）  
第 2 回 平成 30 年 7 月 27 日（金）  
第 3 回 平成 30 年 10 月 24 日（水）  
第 4 回 平成 30 年 12 月 18 日（火）  
第 5 回 平成 31 年 2 月 20 日（水）
  - ウ 滞納世帯に対する生活状況に応じた償還指導と不良債権の整理（職権免除を含む）  
長期滞納者が固定化していることから、適切な債権整理を行うことを目的に、償還期限到来後、滞納月数が 24 月以上経過している借受人を対象に現状調査を実施。  
償還困難債権については、生活福祉資金運営委員会に諮り償還免除を行った。  
現状調査対象債権数：66 件 償還免除債権数：16 件
  - エ 市町村社協及び生活困窮者自立支援事業との連携・協働による事業推進  
市町村社協担当者の資質向上及び複合的な福祉・生活課題を抱える借受世帯への相談支援の充実を図るため、生活困窮者自立支援事業と合同で担当職員研修会を実施した。
    - ・ 新任担当者研修会・事業担当者連絡会  
平成 30 年 6 月 1 日（金） 富山県教育文化会館 参加者：21 名
    - ・ 生活困窮者自立支援事業・生活福祉資金貸付事業担当職員合同研修会  
平成 31 年 2 月 15 日（金） サンシップとやま 参加者：15 名

## ② 生活困窮者自立支援対策推進事業

### ア 生活困窮者自立支援のための事例検討会の開催

平成 31 年 2 月 15 日（金） サンシップとやま 参加者：30 名

生活困窮者自立支援事業と生活福祉資金貸付事業の担当者の合同研修会を開催し、事例検討を通じて家計管理の必要性や家計診断のポイントを学んだ。

### イ 生活困窮者自立支援のための市町村独自サービスの把握

市町村社協等が取り組む制度外の支援サービスについて調査を行った。

## ③ 東部生活自立支援センター運営事業

富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部 8 市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に「自立相談支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施

### ア 新規相談受付件数：77 件、支援プラン策定件数：37 件、自立相談支援事業による就労件数：27 件

### イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月 1 回、8 市町村社協において巡回相談を行うとともに必要に応じて出張相談を実施した。

### ウ 就労準備支援事業の一環として、模擬面接、履歴書作成支援、健康維持とひきこもり防止を目的にウォーキング等の軽運動の機会を提供した。

### エ 富山県弁護士会との連携により毎月 1 回、法律相談を行うとともに、具体的な支援方法について助言をいただいた。

## ④ 総合相談体制の強化

### ア 高齢者相談業務担当職員研修会の開催

地域包括支援センター等の職員を対象に、相談援助技術の向上を図るため研修会を実施

平成 31 年 3 月 15 日（金） ボルファートとやま 参加者：115 名

講演 問題解決のための「相談力」

講師 みそら行政書士・社会福祉事務所 リーガルソーシャルワーカー 鈴木 雅人 氏

### イ 市町村社協相談員研修会の開催

市町村社協が行う相談事業の相談員（社協職員、民生委員・児童委員）を対象に援助技術や援助事例をもとに、研修会を実施し相談員の資質向上を図る。

## （3）市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上

### ① 市町村役職員セミナーの開催

平成 31 年 3 月 11 日（月） パレブラン高志会館 参加者：42 名

講義「地域共生社会の実現に向けた施策動向と社協の事業・組織基盤の強化について」

演習「地域共生社会の実現に向けた事業・活動の展開方策を考える」

～事業・活動の評価・分析と事業・組織基盤を強化する行動計画～

講師 社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部副部長 平井 庸元 氏

### ② 地域福祉推進担当者会議の開催

市町村社協の地域福祉担当、ボランティア担当、生活福祉資金貸付担当、日常生活自立支援事業担当、生活困窮者自立支援事業担当者を対象に今後の活動方針を協議

平成 30 年 5 月 18 日（金） ボルファートとやま 参加者：62 名

内容：地域福祉の動向、各担当から新年度事業説明、次年度予算、新規・重点事業の説明等について

### ③ 市町村社協職員研修・支援事業

#### ア 社会福祉協議会新任職員研修会

平成 30 年 11 月 30 日（金） ボルファートとやま 参加者：11 名

講義 I 「社会福祉協議会の基本理念と職員に求められているもの」

県社協 地域福祉・ボランティア振興課長 池田 浩一郎

実践報告「安心して暮らせるまちづくりに向けた地域との協働」

報告者 入善町社会福祉協議会 事務局次長 浦田 実氏

演習「市町村社会福祉協議会の役割について考える」

演習指導者 入善町社会福祉協議会 事務局次長 浦田 実氏

朝日町社会福祉協議会 主任 廣田 和也氏

#### イ 市町村社会福祉協議会中堅職員研修会

平成 30 年 7 月 19 日（木）～20 日（金） サンシップとやま 参加者：10 名

講義及び演習

講師 北翔大学 非常勤講師・社会福祉法人愛和福社会 理事長 林 恭裕氏

#### ウ 市町村社会福祉協議会事務局長研修会

平成 30 年 8 月 21 日（火） パレブラン高志会館 参加者：15 名

講義「これからの社協経営と地域づくり」

講師 社会福祉法人琴平町社会福祉協議会 常務理事・事務局長 越智 和子氏

グループ討議「地域共生社会実現に向けた活動強化のための組織・事業基盤づくり」

### ④ 住民主体の地域ケア会議推進事業

地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座 受講者：52 人

平成 30 年 8 月 17 日（金） サンシップとやま

○講義 「ケアマネジメントの本質と野中式事例検討会」

講師 半田市社会福祉協議会 次長 前山 憲一氏

○実践事例検討 2 事例

事例提供者 魚津市社会福祉協議会 福祉総合相談支援センター

主事 宮下 久見子氏

水見市社会福祉協議会 ふくし相談サポートセンター

基幹相談支援員 領毛 都志絵氏

### ⑤ 市町村社協巡回指導

「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、市町村社協及び各地区社協が行う地区懇談会へのアドバイス、地域福祉推進員等の研修会への講師派遣、情報提供等  
地域福祉活動計画策定済：14 市町

## （４）地域包括ケアシステムの推進と地域包括支援センター等との連携・協働の取組み強化

### ① 地域包括ケア推進事業

地域包括ケアシステム推進のための協働学習会の開催

生活支援コーディネーター相互の情報交換・共有の場を設け、県内外の事例から学ぶとともに、地域包括ケアシステムの推進に向けた住民参加によるまちづくりの取組みについて

て考えるための学習会を開催した。

平成30年10月17日(水) サンシップとやま 参加者：31名

基調講演「地域包括ケアシステム推進による福祉のまちづくりとは

～生活支援コーディネーターへの期待～」

講師 日本大学文理学部社会福祉学科 教授 諏訪 徹 氏

グループワーク「生活支援コーディネーターの活動を「見える化」してみよう」

## ② 共生型包括ケアネット構築事業

ケアネット活動で把握された困難事例を支援に結びつけるため、相談支援包括化推進員（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、ケアネット活動を基盤とした包括的支援体制の構築を図る市町村等の取組みに対する支援を目的とする。

### ア 共生型包括ケアネットシンポジウムの開催

コミュニティソーシャルの機能や視点（ニーズキャッチ、多職種連携、サービス開発、地域・住民とのコーディネート機能等）について理解を深め、これからの地域・住民と専門職、専門機関のそれぞれの役割や連携・協働方法を深めることを目的に開催した。

平成30年12月13日(木) パレバラン高志会館 参加者：76名

#### 【実践報告及びセッション】

##### ○コーディネーター

富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

##### ○シンポジスト及び実践報告

琴平町社会福祉協議会 常務理事・事務局長 越智 和子 氏

『琴平町の実践から「地域生活総合支援サービス」』

金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 美恵 氏

『個と地域をつなぐ身近な圏域における地域包括支援センターの実践』

氷見市社会福祉協議会 主幹 コミュニティソーシャルワーカー 山田 哲也 氏

### イ アドバイザー派遣事業

○派遣アドバイザー 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

○派遣先及び事業 黒部市社会福祉協議会「くろベネット事業」

○関係事業等 くろベネット事業運営委員会 平成30年10月25日(木)

くろベネット企業版研修会 平成31年1月28日(月)

くろベネット交流会 平成31年3月2日(土)

モデル地区アドバイザー講演会

・荻生地区 平成31年2月17日(日)

・下立地区 平成31年2月16日(土)

## (5) 民生委員・児童委員との連携・協働

### ① 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

ア 全社協が主催する民生委員児童委員のための相談技法研修会への派遣

・ 相談技法研修 平成30年10月18日(木)～19日(金)

アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール(千葉県千葉市) 2名派遣

イ 民生委員・児童委員研修

・ 市町村・地区民生委員児童委員会会長研修

平成30年6月6日(水) 高岡エクール

- 参加者：159名 研修報告・講演
- ・ 主任児童委員・児童委員合同研修
  - 平成30年8月29日（水） 富山国際会議場
  - 参加者：468名（主任児童委員204名、児童委員264名） 基調講演・シンポジウム
- ・ 新任民生委員・児童委員研修
  - 平成30年11月30日（金） 富山国際会議場
  - 参加者：678名 講義
- ・ 中堅民生委員・児童委員研修
  - 平成31年1月28日（月） サンシップとやま
  - 参加者：286名 基調講演・活動実践報告
- ・ 民生委員・児童委員課題別研修
  - 第1回：平成31年2月26日（火） ウイング・ウイング高岡
  - 第2回：平成31年2月27日（水） ボルフアートとやま
  - 参加者 計146名（第1回48名、第2回98名） 講義・事例検討
- ・ 心配ごと相談員・民生委員児童委員相談援助技術研修会
  - 平成30年12月17日（月） 富山県市町村会館 参加者：52名
  - 講義「相談面接における基礎知識」
  - 演習
  - 講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

## ② 民生委員児童委員互助共励事業の実施

全国互助共励事業 59件、874,000円

## （6）福祉のまちづくり活動の推進

### ① 富山県民福祉推進会議の開催

平成30年7月13日（金） サンシップとやま

議事：平成29年度事業報告、平成30年度事業計画、  
地域福祉関連事業の説明

「富山県における障害福祉施策の概要について

～障害者差別解消条例・手話言語条例～

富山県厚生部 障害福祉課長 大村 政人 氏

福祉のまちづくり推進に関する意見交換 福祉のまちづくり宣言

### ② やさしい福祉のまちづくり賞の表彰と普及・啓発

- ・ 第20回「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰選考審査会の開催

平成30年10月5日（金） サンシップとやま

- ・ 福祉のまちづくり賞大賞等の表彰（活動や取り組みの部門）まちづくり賞4点

### ③ 福祉フォーラムの開催

- ・ 第22回福祉フォーラムの開催

テーマ「種を撒こう！咲かせよう！農福の花

～みんなが主人公になれる地域に向けて～

平成30年11月18日（日） サンシップとやま 参加者：150名

パネラー 一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会 理事長

社会福祉法人無門福祉会 事務局長 磯部 竜太 氏  
社会福祉法人フォーレスト八尾会 おわらの里 施設長 島滝 しず子 氏  
農林水産省・農林水産政策研究所企画広報室長 農福連携チーム長  
吉田 行郷 氏  
アルビス株式会社 アルビスファーム信州なかの社長 高松 章弘 氏  
コーディネーター 北日本放送株式会社 アナウンサー 小林 淳子 氏

## (7) 福祉関係団体とのネットワーク構築

### ① 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催

県段階の福祉関係団体の正副会長及び理事を対象とし、社会福祉を取り巻く情勢等に関する会議を開催

平成30年8月23日(木) 富山県民会館

テーマⅠ「地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりの取り組みについて」

Ⅱ「社会福祉法人の今後のあり方について」

Ⅲ「福祉人材の確保・定着・育成の取り組みについて」

参加者：20団体、20名

### ② 富山県社会福祉推進関係者新年度交歓の集いの開催

県内の福祉推進関係者が一堂に会して交流する機会を提供することにより、新年度における事業の円滑な推進と連携を支援

平成30年4月27日(金) 富山県民会館

参加者：約90名(県副知事、県厚生部長、厚生部関係課長、市町村関係課長、市町村社会福祉協議会、福祉関係団体、医療法人、公益法人、NPO法人)

## (8) 各種福祉団体への支援・協力

### ① 各種福祉団体の事務局受託(5団体)

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県デイサービスセンター協議会、富山地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

### ② 在宅心身障害児通園訓練事業への助成

### ③ 県母子寡婦福祉連合会、県母親クラブ連合会等への助成

### ④ 福祉団体活動等への支援 「保育所長専門講座」受講助成事業

## (9) 各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

### ① 福祉総合相談センターの運営

ア 福祉なんでも相談の実施

イ 県内社会福祉等関係施設一覧の発行及び関係先への配布 600部

### ② 高齢者総合相談センターの運営

ア 高齢者及びその家族などが抱える生活・保健・福祉等に係る心配ごと、悩みごと等の各種相談に電話・来所・Eメール等により応じる。

悩みごと相談(一般相談員) 1,686件

- 専門相談(弁護士、税理士、社会保険労務士、保健師) 697 件  
認知症ほっと電話相談(保健師・看護師) 27 件  
総相談件数 2,410 件 うち、一日出張相談所 10 か所 157 件
- イ 高齢者関係相談機関連絡協議会の開催  
平成 30 年 9 月 13 日(木) サンシップとやま  
構成: 16 機関
- ウ シルバー 110 番だよりの発行 年 4 回 各 1,100 部

### ③ 障害者権利擁護・虐待防止推進事業

#### ア 連携協力体制整備事業

- ・ 障害者虐待防止ネットワーク協議会の開催  
平成 31 年 2 月 21 日(木) サンシップとやま  
構成: 21 機関・団体

#### イ 障害者権利擁護・虐待防止研修事業

- ・ 障害者権利擁護・虐待防止研修会の開催  
平成 31 年 2 月 20 日(水) 富山県民会館 参加者: 128 名  
講義Ⅰ「障害者虐待防止法の概要及び富山県の現状について」  
講師 富山県障害福祉課自立支援係  
講義Ⅱ「良い支援をするために～障害者虐待の現場から」  
講師 毎日新聞論説委員 野沢 和弘 氏  
コース別に事例を基に演習  
『障害者福祉サービス事業所等コース』  
「職場内研修用小冊子を用いた演習」 参加者: 56 名  
『市町村等虐待防止担当職員等コース』  
「知的障害者のコミュニケーション特性と面接技術」  
講師 富山県立黒部学園指導課長 石動 仁 氏  
「障害者の権利擁護－偏見(親・社会・行政)・障害特性・親の高齢化から考える－」  
講師 富山県手をつなぐ育成会理事 細川 瑞子 氏  
参加者: 9 名

#### ウ 普及啓発事業

- ・ 障害者虐待防止リーフレットの作成・配布 作成数: 18,500 部  
配布先 福祉サービス事業提供法人他関係機関(386 か所)

### ④ 難病相談・支援センター事業

#### ア 難病患者等に対する個別相談(専門医・社会保険労務士による相談含む)

- ・ 相談支援業務 実人数 539 名、延人数 2,871 名
- ・ ピアサポーターによる相談 21 回 相談者: 延 19 名

#### イ 難病患者に対する就労支援

- ・ 就労支援者数 47 名
- ・ 就労相談会(難病患者就職サポーター) 13 回 30 名
- ・ 職場訪問・同行・ケース会議等 10 回

#### ウ 講演会、研修会等の開催(患者・家族・支援者等)

- ・ 講演会・研修会  
平成 30 年 4 月 21 日(土) 「脊髄小脳変性症」 参加者: 26 名

- 講師 独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院院長 高嶋 修太郎 氏  
平成 30 年 6 月 9 日(土)「全身性強皮症」 参加者：40 名
- 講師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科診療講師 朴木 博幸 氏  
平成 30 年 6 月 30 日(土)「混合性結合組織病」 参加者：14 名
- 講師 富山県済生会高岡病院 リウマチ科 奥村 麻衣子 氏  
平成 30 年 8 月 4 日(土)「小児の腎疾患」 参加者：6 名
- 講師 富山県済生会富山病院 小児科部長 松倉 裕喜 氏  
平成 30 年 9 月 8 日(土)「多発性硬化症／視神経脊髄炎」 参加者：39 名
- 講師 富山大学附属病院 脳神経内科教授 中辻 裕司 氏  
平成 30 年 9 月 15 日(土)「難病患者のための就労交流会」 参加者：7 名
- 講師 臨床心理士 竹村 祥恵 氏  
平成 30 年 12 月 6 日(火) 難病患者支援(保健師)研修会 参加者：12 名
- 講師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科 診療准教授 篠田 晃一郎 氏 他  
平成 31 年 1 月 29 日(火)/2 月 8 日(金)「難病患者等ホームヘルパー養成研修」
- 講師 光風会訪問看護ステーション 管理者 小原 留美 氏 他 参加者：10 名  
平成 31 年 3 月 14 日(木)「支援者のための脊髄小脳変性症研修会」 参加者：19 名
- 講師 独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院院長 高嶋 修太郎 氏 他
- ・疾患別交流会
- 平成 30 年 6 月 2 日(土) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 参加者：6 名
- 平成 30 年 8 月 4 日(土) 球脊髄性筋萎縮症 参加者：4 名
- 平成 30 年 10 月 25 日(木) 重症筋無力症 参加者：8 名
- 平成 30 年 11 月 13 日(火) 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症 参加者：4 名
- 平成 31 年 3 月 16 日(土) 多発性硬化症/視神経脊髄炎 参加者：14 名
- ・ピアサポーター養成講座
- 第 1 回 平成 30 年 7 月 7 日(土)  
「話すこと・聴くこと～ピアサポーターとしての基礎知識」参加者：24 名  
講師 NHO まつもと医療センター包括支援センター ソーシャルワーカー 植竹 日奈 氏
- 第 2 回 平成 30 年 12 月 1 日(土)「患者・家族の不安や悩みへの対応」参加者：21 名  
講師 独立行政法人国立病院機構 医王病院 心理療法士 多田 淑央 氏
- エ 厚生センター・保健所との連携・技術支援
- ・難病就労相談会  
平成 30 年 10 月 19 日(金) 高岡厚生センター 相談者：3 名
- ・難病事例検討会  
平成 30 年 11 月 29 日(木) 大沢野保健福祉センター 参加者：6 名  
平成 30 年 11 月 30 日(金) 富山市保健所 参加者：15 名  
平成 31 年 1 月 18 日(金) 富山市保健所 参加者：11 名
- オ 難病患者の支援啓発事業  
対象：医療・介護者を目指す学生 8 回 計 644 名
- カ 交流サロン&ミニセラピー(7 回) 参加者：111 名  
講師 絵手紙作家 針山 安子 氏他
- キ 「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布  
関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布
- ク 地域支援 講義：3 回
- ケ 患者会支援 総会、交流会、研修会等に協力 26 回

コ アドバイザー会議 11回

⑤ 若年性認知症相談・支援センター事業

ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援

・相談支援業務 実人数 52名、延人数 311名

イ 支援者のための若年性認知症研修会の開催

・平成30年10月5日(金) 参加者：保健・医療・福祉関係者等 36名

「若年性認知症とともに生きる人々への支援」

講師 全国若年性認知症支援センター 室長 山口 喜樹 氏

ウ 医療・介護・福祉・雇用関係者とのネットワーク会議開催

・平成31年2月7日(木) 出席者：医療・介護・福祉・労働・行政等 37名

実践報告・意見交換「若年性認知症仕事の場(居場所)づくり支援について」

講義・助言者 社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター研究部

研究員/作業療法士 齊藤 千晶 氏

エ 若年性認知症の本人と家族の交流会

・平成30年7月21日(土) 参加者：4組 8名

・平成30年10月27日(土) 参加者：4組 7名

・平成31年3月9日(土) 参加者：7組 13名

オ 「若年性認知症ハンドブック」の増刷

1,000冊(本人と家族用、関係機関に配布)

カ 地域支援 講義・講演：4回、会議出席：7回

⑥ がん総合相談支援センター事業

ア がん患者・家族等の個別相談

・相談総延べ数 1,160件 うち再利用 896件(77.2%)

(面接相談 918件 電話相談 242件)

イ がんピアサポーター養成講座

・養成講座9回 受講者：16名 修了者：16名

第1回 平成30年7月14日(土) ピアサポーターについて 参加者：16名

第2回 平成30年8月19日(日) ピアサポートとは何か 参加者：14名

第3回 平成30年9月15日(土) 模擬交流サロン 参加者：12名

第4回 平成30年10月13日(土) 子宮がんに関する基礎知識、がんと就労  
参加者：10名

第5回 平成30年12月9日(日) ピアサポーターのコミュニケーション技法  
参加者：16名

第6回 平成31年1月20日(日) 肺がんの基礎知識、化学療法と看護、  
胃・大腸に関する基礎知識 参加者：15名

第7回 平成31年2月16日(土) 乳がんに関する基礎知識 参加者：12名

第8回 平成31年2月19日(火) がん診療連携拠点病院の見学 参加者：12名

第9回 平成31年2月23日(土) がんピアサポート活動 参加者：14名

ウ がんピアサポート活動

・がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催12回 参加者延べ179名

・グリーンケアの会 6回 参加者延べ39名

エ がんピアサポート活動支援

・県内がん診療連携拠点病院でのピアサポート活動

黒部市民病院	5回	富山県立中央病院	6回	富山大学附属病院	5回
厚生連高岡病院	6回	市立砺波総合病院	5回	富山赤十字病院	6回
高岡市民病院	5回	厚生連高岡病院	4回		計42回

・「がん教育」の講師

小学校、中学校（2校）、看護専門学校等のがん教育授業

・「ピンクリボンフォーラム」「NHKフォーラム」

・「がん予防に関する研修会」「がん検診受診率向上出前セミナー」

にピアサポーター  
派遣

・がんピアサポーターフォローアップ研修会

第1回 平成30年4月15日（土） サンシップとやま 参加者：37名

がん総合相談支援センター事業、30年度がんピアサポート活動について

第2回 平成30年6月24日（日） サンシップとやま 参加者：35名

体験発表、グループワーク「がんピアサポート活動で心掛けていること」

第3回 平成30年8月5日（日） サンシップとやま 参加者：15名

講義と実技「ピアサポート活動での傾聴と共感」

講師 臨床心理士 高野 利明 氏

第4回 平成31年2月9日（土） サンシップとやま 参加者：23名

体験発表、グループワーク「自身の行動を振り返り、今後の活動に活かしたいこと」

オ 講演会の開催（患者・家族等）

・公開シンポジウム 平成30年11月25日（日） サンシップとやま 参加者：48名

講演「AYA世代のがん医療の現状と課題」

講師 国立病院機構 名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部 敬三 氏

・パネルディスカッション「AYA世代のがん体験者として伝えたいこと」

パネリスト AYA世代のがんピアサポーター2名と家族1名

・小児がん患者・家族の会紹介コーナー

カ がん診療連携拠点病院相談員との連携（情報交換会・研修会）

（情報交換会）

第1回 平成30年7月19日（木） 富山市民病院 参加者：28名

第2回 平成31年2月14日（木） 富山市民病院 参加者：32名

第3回 平成31年3月9日（土） まちなか総合ケアセンター 参加者：15名

（研修会）

第1回 平成30年8月18日（土） 県立中央病院 参加者：15名

講演「看護師のコミュニケーションスキルNURSEについて」

講師 がん相談員研修ワーキンググループ

第2回 平成31年3月9日（土） まちなか総合ケアセンター 参加者：15名

講演「精神疾患のある患者とのコミュニケーション」

講師 富山大学附属病院 精神保健福祉士 山本 奈々穂 氏

キ 情報提供：図書貸出 31冊 ホームページの更新

ク 広報・PR：当センター啓発活動のため、地域等3か所への研修会に講師として参加

・新聞等での広報

## 2 制度の狭間に対応した新たなサービス・活動の開発

### (1) 地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進

#### ① コミュニティソーシャルワーク研修

##### ア 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修

前期：平成 30 年 11 月 14 日（水）～15 日（木）

後期：平成 30 年 12 月 12 日（水）～13 日（木）

パレブラン高志会館 修了者：48 名

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

富山国際大学子ども育成学部 准教授 相山 馨 氏

##### イ コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修

平成 31 年 2 月 13 日（水） サンシップとやま 参加者：20 名

講師 早稲田大学人間科学部健康福祉科学科 教授 田中 英樹 氏

内容：事例をもとにコミュニティソーシャルワークによる支援を検討

#### ② 市町村社協活動強化費助成事業

市町村社協地域福祉活動計画の策定支援、地域課題解決のための新たな生活支援サービスの創出等のための取り組みへの支援

・地域福祉活動計画策定事業 2 市町村社協（黒部市・朝日町）へ助成

・地域サービス創出事業 4 市町村社協（黒部市・砺波市・舟橋村・上市町）へ助成

#### ③ 市町村社会福祉協議会地域福祉実践研究発表会

地域共生社会の実現を目指した制度改革等が進められる中、県内の市町村社協における様々な実践活動の研究発表会を開催し、それぞれの取組みの目的や成果・課題等を振り返り、共有することで、これからの社協の地域福祉実践に資するとともに、関係機関や行政等が社協の役割・機能に対する認識を深め、さらなる連携強化を図るための機会とした。

平成 31 年 1 月 30 日 サンシップとやま 参加者 91 名

実践発表者 15 市町村社協

コメンテーター 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

#### ④ 社会福祉協議会労務管理研修会の開催

平成 30 年 12 月 4 日（金） サンシップとやま 参加者：13 名

講義「労務管理の基本、押さえておきたい労働関係法令の動向とポイント」

講師 富山県社会福祉協議会 経営相談室経営専門指導員

梅原社会保険労務士事務所 梅原 修一 氏（社会保険労務士）

### (2) 地域における自立生活への支援

障害者が地域でより自立した生活ができるよう、「富山県工賃向上支援計画」に基づき、県内の障害者就労支援事業所で働く障害者の工賃水準の向上を図るための各事業所における具体的な取組みの推進を支援

#### ① 工賃向上支援研修の開催

工賃向上引上げ推進員養成・スキルアップ研修 平成30年7月31日(火)  
サンシップとやま 受講者：16名  
自主製品創出研修 平成30年8月31日(金) サンシップとやま 受講者：19名  
技術指導研修 平成30年9月27日(木) サンシップとやま 受講者：15名  
企業等連携研修～施設外就労視察研修～ 平成30年10月30日(火)  
株式会社富山環境整備、NPO法人愛和報恩会 受講者：17名  
新分野との連携研修 平成30年12月11日(火) サンシップとやま 受講者：13名

② 地域との連携強化

共同事業ネットワーク構築事業（共同受注の窓口設置）

③ 「工賃引上げ計画」作成・実行サポートコンサルタント派遣事業

新規コンサルタント派遣を希望する事業所1か所

④ 専門技術者受入支援事業

事業所が希望する専門技術者の派遣費用を助成（4事業所）

### 3 その人らしい生き方を支援する権利擁護の推進

(1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進

① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：17,723件、契約締結件数：新規71件

実利用件数：471件(平成30年度末現在)

ア 契約締結審査会の開催

- ・ 第1回 平成30年4月27日(金)
- ・ 第2回 平成30年5月25日(金)
- ・ 第3回 平成30年7月6日(金)
- ・ 第4回 平成30年8月3日(金)
- ・ 第5回 平成30年9月7日(金)
- ・ 第6回 平成30年10月5日(金)
- ・ 第7回 平成30年11月2日(金)
- ・ 第8回 平成30年12月7日(金)
- ・ 第9回 平成31年3月8日(金)
- ・ 審査案件18件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

イ 生活支援員の確保と養成・登録者研修の実施

- ・ 生活支援員372名を配置
- ・ 新規生活支援員養成研修会の開催  
平成30年6月22日(金) サンシップとやま 参加者：24名
- ・ 生活支援員研修会の開催  
平成31年2月1日(金) サンシップとやま 参加者：69名  
講義「精神障がいの利用者への支援」  
講師 医療法人社団緑心会 砺波サナトリウム福井病院

ウ 専門員研修の開催

- ・ 平成 31 年 1 月 22 日（火） サンシップとやま 参加者：19 名  
ビネットを用いた事例学習実施

エ 関係機関連絡会議の開催

- ・ 日常生活自立支援事業専門員連絡会（2 回）
- ・ 成年後見制度事例研究会の共催（年 6 回 うち 1 回 平成 31 年 3 月 本会主管）
- ・ 成年後見制度無料相談会の共催  
（県司法書士会、成年後見センター・リーガルサポート富山県支部主催）

オ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ パンフレットの配布
- ・ 生活支援員だより「よりそい」の発行（年 2 回 各約 770 部）
- ・ 富山県社会福祉士会 ばあとなあ富山との共催により、「平成 30 年度高齢者・障がい者の権利擁護のための出前講座」の開催（11 か所）
- ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

## 【推進項目2】

### 住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくり

地域住民の主体的な地域福祉活動への参加なくしては地域福祉の推進はないことから、住民の地域活動への参加を促すため、幼いころから福祉等へ触れ合う場を持ち、世代に応じた福祉教育を進め、生きがいを持って地域福祉活動に関われる土壌を作る必要があります。

そのために地域住民と共にボランティア活動や地域福祉活動を推進し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。

## 1 地域住民の地域福祉活動やボランティア活動への参加促進

### (1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

#### ① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況（平成31年3月末現在）

利用団体数 841 団体、利用者数 3,898 名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 528 団体

#### ② 市町村ボランティアセンター活動事業

地域課題、生活課題に対応する地域住民、ボランティアの先駆的、自主的な活動を促進するため、ボランティア活動の一層の振興を図り、市町村社協に助成した。

（ボランティア養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15市町村 7,331千円助成）

#### ③ ボランティア活動養成研修事業の実施

ボランティアコーディネーター等養成研修

平成30年6月14日（木）富山県民会館 参加者：40名

講義・ワーク

「ボランティア活動の特性」

「ボランティア活動の強み・弱み」

「『なぜ、ボランティア活動を続けるのか、やめてしまうのか』」

「ボランティアマネジメントの必要性と業務の流れ」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 唐木 理恵子 氏

#### ④ ボランティアサポーター設置事業

15市町村社協290名の委嘱を行い、地区でのボランティア活動に関する相談や情報提供、市町村ボランティアセンターの活動等を支援

#### ⑤ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成（15市町村22名分）

#### ⑥ 県ボランティアセンターの運営

・ 運営委員会の開催 年2回（10月、1月）

・ 関係会議及び県内外研修会等に参加及び講師出向（全国社会福祉協議会、ブロック社協職員会議、研修会、福祉関係学会、市町村社協の研修等）

## (2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

### ① ボランティア活動の広報、啓発

#### ア ボランティア情報の提供

- ・ ボランティア情報誌の発行

県社協「福祉とやま」（奇数月に各12,000部発行）の中に、ボランティアグループ・NPO団体や助成金情報等関係の記事を掲載

配布先：市町村社協、市町村行政、県内福祉施設、小中高校、図書館・公民館等  
教育施設等

- ・ マスコミ各社、関係機関等に毎週1回ボランティア情報を提供、県社協ホームページにボランティア情報等を掲載

#### イ ボランティアガイド作成・配布

ボランティア活動メニュー等を記載したハンドブックを300部作成・配布

### ② 「ボランティア活動強調月間事業」の実施協力

10月の強調月間中の10月2日に富山駅でのチラシ等配布、県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等の開催

### ③ 社会人・企業の社会貢献活動ナビ事業

#### ア 地域ボランティア養成講座

退職する団塊の世代の経験や知識、パワーをボランティア・NPO活動への参加により、地域社会に活かすため、県内1か所で講座を開設

(高岡会場)

(第1回)平成30年11月15日(木) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者：80名

講義「ボランティア活動のいろは ～ボランティアの価値や魅力と役割」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 唐木 理恵子 氏

(第2回)11月～12月 ボランティア体験 参加者：12名

(第3回)平成30年12月14日(金) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者：9名

振り返り

講師 富山県社協 地域福祉・ボランティア振興課長 池田 浩一郎

#### イ 企業の社会貢献セミナーの開催

(富山会場)

平成30年8月20日(月) ボルフアートとやま 参加者：21名

基調講演「地域に密着した企業の貢献活動

～多様な団体とのつながりを大切にした活動～」

講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長 永井 美佳 氏

シンポジウム

コーディネーター

社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長 永井 美佳 氏

シンポジスト

株式会社アピア 代表取締役社長 野村 裕二 氏

ディレクター 松井 茂 氏

株式会社三喜有 常務取締役 池田 麻衣子 氏  
専務取締役 辻 栄修 氏  
入善町社会福祉協議会 事務局長 浦田 実 氏

(高岡会場)

平成 30 年 9 月 20 日 (木) 高岡文化ホール 参加者 : 11 名

基調講演「地域に密着した企業の貢献活動

～多様な団体とのつながりを大切にした活動～」

講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会

事務局長 永井 美佳 氏

シンポジウム

コーディネーター

社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長 永井 美佳 氏

シンポジスト

株式会社アピア 代表取締役社長 野村 裕二 氏

ディレクター 松井 茂 氏

株式会社三喜有 常務取締役 池田 麻衣子 氏

専務取締役 辻 栄修 氏

入善町社会福祉協議会 事務局長 浦田 実 氏

#### ④ ボランティアグループ活性化等発掘支援事業

ボランティアグループ、NPO団体の活動の立ち上がり支援並びに子育て支援活動のボランティア団体支援のための助成を行った。

設立後、間もないボランティアグループ 8 団体 1,451 千円 助成

## 2 子どもから大人までの幅広い世代への福祉教育の推進

### (1) 福祉教育・ボランティア学習の推進

#### ① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、14 市町村社協 (14 か所) を指定

#### ② 福祉教育サポーター養成確保事業

身近な地域 (地元) で、多様な団体、学校、地域が協働で取り組めるよう「福祉教育」に取り組む「福祉教育サポーター」の養成確保事業を小矢部市社協、上市町社協、入善町社協、魚津市社協で実施した。

県社協では、「福祉教育サポーター推進委員会」を年 1 回開催し、実施市町村社協の進捗状況の把握や今後の支援について検討した。

平成 31 年 3 月 12 日 (火) サンシップとやま

#### ③ 高校生介護等体験特別事業

県立富山いずみ高校と県立上市高校の 2 校を平成 30 年より新たに指定し、介護体験、ボランティア活動等を行った。

④ 教員免許法の特例に基づく「介護等体験」支援事業

16 大学 270 人の学生が希望し、115 施設において介護等を体験

⑤ 富山県福祉教育セミナーの開催

平成 30 年 8 月 6 日（月）パレブラン高志会館 参加者：63 名

「福祉教育実践から学ぶ～地域（地元）で福祉教育を推進するための取り組み～」

活動報告

- ・小学校の取り組み『みんなのためにできること』

高岡市立横田小学校 教諭 中川 智子 氏

- ・中学校の取り組み『氷見市における福祉教育の取り組み

－V. C. P（ボランティア・チャレンジ・プログラム）』

氷見市社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター 釣澤 吏乃 氏

- ・地域（地元）の取り組み

立山町社会福祉協議会 主任 浅尾 祐子 氏

基調講演「地域に根ざした福祉教育」

講師 高知大学教育学部 講師 三ツ石 行宏 氏

### 3 住民と専門職等との協働による地域福祉活動の推進

（1）ケアネット活動による住民と専門職との協働による個別支援と地域支援の推進

① 市町村社協のケアネット活動展開時における専門職等との連携強化の推進

（2）地域における住民と専門職の連携による活動の展開支援

（3）地区社協の強化を目指した市町村社協への支援

① 市町村社協地域福祉活動計画策定時における地域住民と専門職の連携を図る地区社協強化への支援

### 4 高齢者の社会参加と地域福祉活動への支援

（1）高齢者の生きがいくりの推進

① 「健康と長寿の祭典」開催事業

「いきいきとやま・第 31 回健康と長寿の祭典」の開催

（ねんりんピック富山 2018 と同時開催）

平成 30 年 11 月 3 日（土・祝）～5 日（月）、富山市体育館、富山県民共生センター

のべ入場者数約 90,000 名

式典・表彰、展示・相談・体験コーナー等

実行委員会に委託（構成：医療等の関係機関・団体、事務局：いきいき長寿センター）

② 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」参加事業

ア「第 31 回全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山 2018）」に県代表選手を派遣

県内予選会の開催（18 種目、合計 4,150 名参加）

- 平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)～6 日(火)、25 種目、選手 701 名派遣 (ほか本部員 15 名)、美術展 22 点出品 (選手団全体成績：優勝 12、2 位 17、3 位 21、ほか入賞 63)
- イ 第 17 回富山県ねんりん美術展の開催 (ねんりんピック富山 2018 美術展と同時開催)  
平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)～5 日(月)、富山県民会館、6 部門 129 点展示、912 名来場
- ウ 健康寿命を延ばす地域の拠点づくり支援事業  
ア) 「健康寿命をのばすリーダー養成講座」(ねんりんピック富山 2018 を一過性のものにしていないために) の開催  
平成 31 年 1 月 9 日(水)、サンシップとやま、101 名参加 (地域包括支援センター・市町村社協職員、ねんりんピック選手、脳トレクラブ等)  
頭と体の運動の効用、地域包括ケアシステム及び介護予防活動の理解、実技披露等
- イ) 小冊子「頭と体を動かす楽しいゲームと体操」の発行  
講座で紹介されたゲーム・体操を 38 種類収録、1,000 部作成

### ③ 情報誌(VITA) 発行业

中高年向け情報誌「V I T A (ビタ)」の発行 (年 4 回、各 1,800 部)

### ④ いきいき長寿大学開催事業

- ア すこやか活動講座 (富山会場 194 名、高岡会場 150 名、合計 344 名参加)  
平成 30 年 6 月～2 月、各会場 8 回、合計 16 回  
内容：健康、社会情勢、認知症と介護、環境、終活、生涯学習など
- イ いきいき脳トレリーダー養成講座 (専門的実践講座)  
平成 30 年 9 月～1 月、滑川市、7 回コース、46 名参加  
内容：脳トレトレーニングの問題づくり、体験活動の進め方、レクリエーション、ふれあい・いきいきサロンでの体験実習、「滑川キラリン脳トレクラブ」設立準備
- ウ 脳トレ問題集の発行 (県内 8 脳トレクラブから問題提供、4 回、各 7,800 部)
- エ 脳トレクラブへの活動支援 (情報交換会、年間活動件数 678 件、のべ体験者 14,153 名)
- オ 脳トレ体験コーナーでの出題  
「ねんりんピック富山 2018」の行政情報発信コーナー (厚生労働省) 体験者 805 名  
「とやま健康・福祉・介護フェア 2019」体験者 362 名

### ⑤ いきいき友の会事業の運営

会員数 (平成 31 年 3 月末現在) 個人 5,505 名、法人・団体 38

- ア 個人会員サービス提供事業  
ア) 情報誌発行业  
情報誌「V I T A」の発行 (年 4 回、各 5,200 部を会員に送付)
- イ) サービスカード発行业  
会員証による割引サービスの実施 (協力店 130 店舗、一覧を 7,500 部発行)
- ウ) 友の会フェスティバル開催事業  
「第 28 回講演と演芸のつどい」の開催  
平成 30 年 7 月 7 日(土) オーバード・ホール、1,051 名来場  
講演 (女優 倍賞千恵子)、落語 (桂 春蝶)、ものまね (君島 遼)
- エ) 催事割引事業  
コンサート等のチケット割引サービス (39 公演、1,235 名利用)
- オ) V I T A 旅行会開催事業  
11 企画を催行、103 名参加

- カ) 趣味の講座開催事業
  - 講演会 1 回 (「郷土史」 64 名参加)
  - 脳トレサロン (脳トレクラブによる運営、サンシップとやま、12 回、のべ 299 名参加)
  - 自然観察会 3 回 (古洞 18 名、伏木 10 名、いたち川 17 名参加)
  - そば打ち体験会 1 回、7 名参加、美術鑑賞講座 9 回、94 名参加
  - パソコン教室 (年賀状) 2 回、26 名参加
- キ) 生きがいつくり普及推進員事業(会員による自主企画事業)
  - 委員 14 名 (うち新規 4 名)、意見交換会 1 回
  - パークゴルフ大会 (参加 69 名)、志賀原発見学会 (18 名参加)
- イ 法人会員サービス提供事業
  - サービス内容 (年会費相当分の個人会員と同様の特典を付与)
  - 情報誌「V I T A」に企業名を掲載
- ウ 会員組織の強化
  - 既存 VITA クラブ 31 の支援 (クラブ一覧の発行、活動助成金の交付)
  - クラブ主催の新規会員体験講座の開催 (1 クラブ、12 名参加)

## (2) 高齢者の社会参加活動の促進

### ① シニアタレント社会活動事業

- ア 養成研修会の開催
  - 平成 31 年 2 月 21 日(木)～22 日(金)、富山県民共生センター、67 名参加
- イ 登録及び紹介
  - シニアタレント 253 名 (語り部含む)、シニアタレントグループ 53
- ウ シニアタレント・語り部バンクニュースの発行 (年 4 回、各 6,800 部)
- エ 連絡協議会の開催 (委員 9 名、11 回)
- オ シニアタレント祭りの開催
  - 平成 30 年 9 月 8 日(土)、サンシップとやま、約 350 名参加
  - 活動発表、合唱、展示、体験コーナー
- カ 世代間交流会 (シニアタレント等が講師) への助成
  - 15 件、1,350 名参加

### ② 元気高齢者の仲間づくり支援事業

- ア サークルの登録及び支援
  - 元気高齢者サークル 25、ねんりん健康運動推進クラブ 37、合計 62
- イ ねんりん健康運動普及指導員研修会の開催
  - 平成 30 年 7 月 19 日(木)、怪我を防ぐ効果的なトレーニング、ねんりんピック参加者等 44 名参加
- ウ 情報提供及び相談業務 (相談員 1 名配置、相談件数 70 件)
- エ 県内のシニアサークルの紹介
  - ホームページに 600 サークルを掲載、サークル一覧の発行 (年 4 回、各 6,800 部)
- オ 体験教室及び世代間交流会の開催 (ラージボール卓球等 6 種目、317 名参加)
- カ 高齢者サークル活動支援のための体験教室開催(5 回、全体参加 170 名のうち新規体験者 66 名)

### ③ エイジレス社会活動推進事業

#### ア エイジレス社会リーダー養成塾事業

地域包括ケアシステム構築に向け、生活支援や介護予防等の活動を行う団体・グループを結成するなど、地域社会の担い手として活躍するリーダーを養成した。

##### ア) エイジレス社会リーダー養成塾の開催

8月から12月まで計8回、富山県民会館、参加者18名、エイジレス社会づくりの社会的背景やニーズ、具体的な活動手法に係る講義など（堀田 力氏、田尻 佳史氏ほか）

##### イ) エイジレス社会リーダー養成塾 活動実践講座の開催

本塾の修了生が活動を始めるうえで課題となっている、協力者、団体の立ち上げ、助成制度、経理などについて学び、相談できる機会を提供した。

1月から2月まで計3回、富山県民会館、参加者25名、取組報告会、講義2回（五位渕利明氏）

#### イ ガイドブックの作成

現に先駆的な活動をしている高齢者が、活動を行うにあたって苦労した事項やそれを克服した方策などの具体的な活動内容、その分野ごとの相談窓口などを掲載したガイドブックを作成した。

7,000部、社会参加の必要性、各分野の活動者及び相談窓口の紹介

#### ウ 先進的な取組みの顕彰

他の参考、模範となる取組み事例を顕彰し、社会活動への意識の高揚と啓発を図った。

「富山県エイジレス社会活動推進協議会顕彰」、委員15名、協議会3回、エイジレス社会活動に取り組み模範となる7個人、8団体の選定、12月「富山県地域包括ケア推進県民フォーラム」で顕彰式実施。

#### エ アクティブ・シニア夢プランの実施

県内在住の50歳以上の個人を対象に、「これからの社会参加活動」をテーマとした「アクティブ・シニア夢プラン」を募集・選定した。

募集チラシ、新聞広告、応募82通、優秀プラン32選

## 【推進項目3】

### 災害時に対応できる地域づくりの推進

近年、頻繁に起きる災害に対して、地域福祉の観点からどのように住民を支援していくかが、大きな課題です。災害が起きても地域で支援する力が発揮できる安心した地域づくりが必要になります。

地域住民の主体性を大切にし、行政・社協・民間（多様な団体）・企業が連携を取りながら、日常的なつながりを持つ災害時にも強い地域づくりに努めました。

## 1 日常的なつながりを基盤とした要援護者への支援体制の充実

### （1）災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

県民に幅広く、災害救援ボランティア活動の普及を図るため講演会及び登録ボランティアコーディネーター・リーダーの県防災訓練への参加を実施

#### ① 災害救援ボランティア訓練事業

ア 災害救援ボランティア情報伝達訓練及び災害救援ボランティア実施訓練

平成30年9月2日（日）8:30～12:00

氷見市・高岡市・射水市で開催された県防災訓練において、各市町災害救援ボランティア本部の立上訓練を行い、地域の住民・ボランティアの参加を得て、県社協登録ボランティアコーディネーター・リーダー等29名が参加

イ 災害救援ボランティア講演会&フォローアップ研修会

平成30年8月22日（水） サンシップとやま 参加者：84名

基調講演「小規模災害における支援力と地域の受援力の大切さ」

講師 ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏  
シンポジスト

永平寺町社会福祉協議会 事務局長 小林 政広 氏

伊勢市社会福祉協議会 伊勢市ボランティアセンター長 野中 秀行 氏  
コーディネーター

ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏

### （2）災害時のボランティア活動の展開支援

#### ① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催及び登録

第1回 平成30年7月22日（日） サンシップとやま 参加者：33名

講義・ワーク「災害支援の全体像と被災者ニーズ」

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの概要」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第2回 平成30年7月28日（土） サンシップとやま 参加者：31名

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの演習」

講義・ワーク「要援護者の課題・対策と日常の福祉活動」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第3回 平成30年9月14日（金） サンシップとやま 参加者：16名  
ワーク

講師 富山県社会福祉協議会

県防災訓練に参加 9月2日（日） 再掲

※平成31年3月末現在、224名の災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーが登録

- ② 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーフォローアップ研修会  
災害救援ボランティア講演会&フォローアップ研修会と統合し開催

## 2 災害時における福祉施設、専門職団体等との連携・協働支援体制の構築

### (1) 専門職等関係機関・団体との連携・協働

#### ① 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網及びメールによる緊急通報システムを整備

#### ② 災害福祉広域支援事業

富山県内外における災害時の福祉広域支援ネットワークを構築するため、福祉施設団体・福祉職能団体・県行政等連携を図り、協議会の設立と「福祉支援チーム」の派遣と派遣を目指して実際の取り組みを学ぶセミナーを開催した。

また、今後の取り組みについて、他県の情報収集を行い、県担当課との打ち合わせを行うとともに、協議会設立に向けて、参画団体との調整を行った。

- ・災害時における福祉・介護の広域的支援ネットワークセミナー

平成31年3月19日（火） 高志会館 参加者：44名

講演「公民協働による災害時の福祉的支援体制づくり」

株式会社 富士通総研 行政経営グループ チーフシニアコンサルタント  
名取 直美 氏

今後の広域災害支援ネットワーク協議会の方向性について

県厚生企画課

- ・県担当課との調整及び協議会参画団体への働きかけ

## 【推進項目 4】

### 地域ニーズへの対応力向上と効果的・効率的なサービス提供に向けた経営支援

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人は地域福祉推進の重要な拠点として、福祉ニーズに対応する機能をより一層発揮することが求められています。

質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供できる体制等を整備するため、各法人が自主的に行っている法人経営上の取り組みに対し、必要な事項等について助言、指導を行いました。

## 1 社会福祉法人の地域における公益的な取組と法人間の連携・協働

### (1) 社会福祉法人による地域連携の推進と公益的な取組みの支援

#### ① 社会福祉法人地域公益活動推進事業

市町村社協が主体となって「社会福祉法人連絡会（地域協議会）」等の設置を図り、地域の福祉・生活課題を共有する場の設定を行うとともに、市町村社協と社会福祉法人・施設それぞれが持つ専門性や資源を活用しながら福祉・生活課題の解決方策について検討を進めていくことを目的に助成。7 市町村協で開催した社会福祉法人連絡会に参加並びに事業費の助成を行った。

（富山市社協、高岡市社協、黒部市社協、小矢部市社協、南砺市社協、立山町社協、入善町社協）

## 2 福祉施設・事業所の経営マネジメント力向上への支援

### (1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

#### ① 福祉施設経営指導の推進

##### ア 社会福祉施設経営相談（相談件数 67 件）

社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員の 2 名、専門経営指導員（公認会計士、社会保険労務士、弁護士）3 名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施

専任相談員による県内 16 社会福祉法人・施設への訪問相談を実施

##### イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供

##### ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催

（構成者：県厚生部 5 課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等）

平成 31 年 2 月 20 日（水） サンシップとやま

協議事項・最近の福祉施策の動き

- ・平成 30 年度指導監査実施状況について
- ・平成 30 年度社会福祉施設経営指導事業の状況について
- ・意見交換

##### エ 富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による労務管理、経理事務、法律問題等に関する研修機会の提供及び集団指導の実施

##### ・社会福祉法人労務管理研修

平成 30 年 10 月 12 日（金） サンシップとやま 参加者：88 名

講義「働き方改革～一億総活躍社会の実現に向けて～」

「魅力ある福祉職場となるために必要な労働条件とは

一労働時間の管理、有給休暇の要件等を中心に」

「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」

「労務管理に関するQ&A」

講師 富山労働局 雇用環境・均等室 指導係長 西山 裕一郎 氏

働き方改革推進支援センター富山 アドバイザー 平田 満 氏

梅原社会保険労務士事務所 社会保険労務士 梅原 修一 氏

(専門経営指導員)

・社会福祉法人経理事務研修

平成30年12月13日(木) 富山県市町村会館 参加者：128名

講義：「会計基準の概要」「決算上の留意事項」「財務諸表等開示システム」「指導監査との関係」「社会福祉充実計画」「会計・経理事務に関するQ&A」

講師 あおぞら経営税理士法人代表社員 公認会計士・税理士 中村 厚 氏

(専門経営指導員)

・社会福祉法人法律問題研修

平成31年2月5日(火) サンシップとやま 参加者：36名

講義：「「65歳超雇用推進助成金」制度について」「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の概要」「介護事故等に関する最近の判例」「法律問題に関するQ&A」

講師 大坪法律事務所 弁護士 大坪 健 氏 (専門経営指導員)

## (2) 富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理

貸付審査会の開催(2回)

貸付件数：5件

貸付額：65,000千円(平成30年度末貸付実績 25件、209,746千円)

## 3 福祉・介護機器の導入・活用支援

### (1) ICT及び福祉・介護機器の活用支援

福祉施設・事業所が、質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供することを支援するため、ICTや介護ロボット等を含む福祉・介護機器の導入・活用に関する情報提供を行う。

#### ① 先進的取り組み事例の紹介

第2回富山県福祉機器活用推進大会

平成30年11月17日(土) サンシップとやま 参加者：87名

講演「福祉機器・介護ロボットに関する最新情報」

講師 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 参与 加藤 智幸 氏

事例報告「介護ロボットを活用した介護について」

報告者 特別養護老人ホームささづ苑 佐藤 佳子 氏 島田 潤一 氏

特別養護老人ホーム鳳鳴苑 今度 登恒 氏

## 【推進項目5】

### 福祉人材の確保・定着、育成

福祉・介護ニーズに対応する福祉人材について、質・量の両面での確保・定着、さらには育成が重要となっています。福祉施設や専門職団体・養成施設などと連携・協働のうえ、福祉人材の育成に効果的な研修事業を実施したほか、キャリアパスの構築、福祉・介護機器の活用による福祉職場の活性化や働きがいのある福祉職場づくりなど、その魅力を広く発信するための取り組みなどを行いました。

## 1 福祉職場の魅力の発信と、新たな分野での福祉人材の掘り起し

### (1) 福祉の人材確保・マッチング支援の強化と人材定着を支援する取り組みの推進

#### ① 福祉人材無料職業紹介事業の充実

ア 全社協・中央福祉人材センターとともに運営・管理を行う「福祉人材情報システム」(COOLシステム)及びホームページ「福祉のお仕事」を活用した求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格、労働市場の動向等に関する情報の提供(保育分野を含む)

- ・相談件数 3,570 件、内訳：求人 1,764 件、求職 1,806 件
- ・登録求人件数 2,571 件、登録求人数 5,210 人
- ・登録求職者数 816 人、内訳：一般 464 人、学生 352 人
- ・届出者数 35 人・37 件
- ・職場見学者数 234 人、職場体験者数 9 人、職場体験受入事業所数 266 か所
- ・紹介者数 198 人
- ・採用者数 178 人、内訳：一般 101 人、学生 77 人

イ 職業訓練受講者へ求職登録の働きかけ

- ・97 名、内訳：初任者研修 6 回 67 名、実務者研修 1 回 30 名

ウ 既存の広報媒体を利用した啓発・案内

- ・福祉とやまによる事業内容や行事等の記事の掲載(6 回)
- ・県社協及び「福祉のお仕事」ホームページによる事業所一覧、行事等の情報を掲載
- ・COOL システム 求職者・届出者マイページによる行事等の案内をメール配信
- ・市町村広報誌への掲載(ハローワーク出張相談予定) 7 回

(高岡市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市)

エ 離職介護人材届出制度の活用推進

離職した介護人材の当センターへの届出を広く周知し、再就職準備金の活用等を通じて就職を支援(ポスター、リーフレットの配布、福祉とやまへの掲載)

35 人・37 件(介護届出 24 件、保育届出 13 件)

#### ② 啓発・広報活動の強化

利用促進用リーフレットの作成 5,000 部、求職者・学生、ハローワーク等で配付

#### ③ 社会福祉事業従事希望者講習会事業

福祉の仕事を目指す求職者や事業所職員等を対象に福祉の仕事セミナーを開催し、社会福祉の動向や福祉の仕事について理解を深める機会を提供

- ・福祉の仕事セミナー～見て！聞いて！福祉の現場の魅力！～
- ・平成 30 年 11 月 29 日(木)、サンシップとやま、参加者：17 名
- ・はじめに「福祉の職場があなたを待っています！」

講師 社会福祉法人 YG

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅介護  
イエローガーデン石動 介護支援専門員 岩田 美保子 氏

・福祉のお仕事・魅力紹介

福祉施設職員（介護のがんばりすと等）、2 法人から 5 名（3 名、2 名）

・グループトーク「福祉の仕事のこと、何でも聞いてみよう！」～福祉施設職員を囲んで～

アドバイザー 福祉施設職員（介護のがんばりすと等）、2 法人から 5 名（3 名、2 名）

#### ④ 福祉人材確保緊急プロジェクトの推進

ア 福祉職場説明会の開催（5 回）

求人事業所と求職者が一堂に会し、様々な施設の経営状況・仕事内容・待遇等を直接確認できる機会の提供

・平成 30 年度福祉人材採用力向上セミナー

平成 30 年 6 月 1 日（金）サンシップとやま 75 名

「福祉人材の確保・定着のための採用術

～法人・事業所の『らしさ（魅力）』、伝わっていますか？」

講師 らしさ研究所代表 門野 友彦 氏

・第 1 回 福祉のお仕事フェア in TOYAMA【福祉・介護】

平成 30 年 7 月 15 日（日）富山国際会議場 参加者：122 人 参加法人：56（56 ブース）

我が事業所紹介 同会場 参加者：60 人 紹介事業所：7

・第 2 回 福祉のお仕事フェア in TOYAMA【福祉・介護】

平成 30 年 7 月 16 日（月・祝）富山国際会議場

参加者：77 人 参加法人：61（58 ブース）

我が事業所紹介 同会場 参加者：53 人 紹介事業所：7

・第 3 回 平成 30 年 11 月 14 日（水）新川文化ホール 138 人、参加法人 44

・第 4 回 平成 30 年 11 月 14 日（水）高岡テクノドーム 290 人、参加法人 206

・第 5 回 平成 30 年 11 月 22 日（木）砺波農村環境改善センター 26 人、参加法人 6

※第 3～5 回はハローワーク高岡、砺波、魚津との合同開催

イ 富山の介護職員募集案内冊子作成・配布事業

県内介護施設等の求人情報を掲載した冊子を作成・配布

掲載募集対象：介護職員処遇改善加算届出法人 546

掲載法人：記事広告 52 法人、純広告 6 法人

作成部数：1,500 部

ウ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

離職率が高い就業後 1～3 年未満の新任介護職員を継続的にフォローすることにより、  
新任職員の早期離職防止・職場定着を図った。

i) 元気とやま 福祉・介護職員合同入職式 2018

平成 30 年 4 月 27 日（金）ゴルフアートとやま

出席者 116 名（内訳：入職者 81 名、県福祉人材確保対策会議委員 18 名、

前年度の介護のがんばりすと 17 名）

内容 激励のことば（副知事代読）、歓迎メッセージ、“初心”表明、

講演「未来の福祉・介護を創る、クリエイターの皆さんへ」

講師 富山県社会福祉施設経営者協議会 理事

富山県デイサービスセンター協議会 副会長  
社会福祉法人海望福祉会 理事・総合施設長 大崎 雅子 氏  
交流会～自分とまわりに「えがおの時間」  
指導 事務所経田 代表 経田 博子 氏

ii) 介護職員フォローアップ研修

- ・介護技術編（腰痛予防）5～6月、4会場、各1回、参加者合計 71名  
講師 県介護福祉士会 副会長 舟田 伸司 氏
- ・セルフケア編（メンタルヘルス）8月、4会場、各1回、参加者合計 47名  
講師 臨床心理士 坂本 美奈子 氏

エ 福祉・介護人材マッチング強化事業

キャリア支援専門員による相談体制と仲介業務の強化

- ・同専門員を2名配置（介護福祉士）
- ・「福祉の仕事 相談コーナー」の開設（月1～2回）  
ハローワーク6か所合計108回、相談合計118件（前年度末140件）  
（高岡45、魚津23、砺波14、氷見12、滑川11、小矢部13）
- ・「介護の仕事 就職支援セミナー」の実施（ハローワークと共催）  
ハローワーク5か所合計57回、参加者合計322人（前年度末302人）  
（高岡10回17人、魚津12回97人、砺波12回105人、氷見11回24人、  
滑川12回79人）
- ・「健康・福祉人材センター・ハローワーク連携事業」の実施  
求職者情報の共有に同意された求職者の就労を共同支援 等  
共同支援人数3人
- ・はじめての福祉の仕事サロン（福祉就労オリエンテーション）の実施  
福祉職場の未経験者を対象に、少人数制のグループトークの実施  
毎月第4木曜日11回（11月は福祉の仕事セミナーとして開催）  
サンシップとやま 参加者合計37人（前年度末36人）  
講師 社会福祉法人 YG  
地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅介護  
イエローガーデン石動 介護支援専門員 岩田 美保子 氏
- ・求人・求職者情報の提供  
登録求職者向けに求人情報紙を毎月送付（4月～3月12回 合計1,127部発行）  
Eメール、ホームページを利用した事業所向けのスカウトサービス（保育以外）  
指名件数56件、指名人数75人、見学1人

⑤ 調査研究事業

ア 県内民間社会福祉事業所の人材不足の現状等を把握し、人材需給に対処する基礎資料とするアンケート調査の実施

10月、1,659事業所対象、回答1,127か所、回答率67.9%

内容：職員数、保有資格数、入植者数、離職者数、離職理由、必要人数、必要理由、  
職場環境、キャリアアップ、人材確保の問題点と要望など、報告書800部作成

※ 集計・分析結果をふまえ、県福祉人材確保対策会議、同ワーキンググループに  
報告

イ 富山県出身学学生在学者調査を実施し、回答のあった大学等の学生に求人情報を提供  
調査対象：東海・北陸・新潟県ほか合計194校、在学者170人、登録者58人

ウ 富山県内学生調査

調査対象：県内養成7校、登録者288人

⑥ 保育士・保育所支援センター設置・運営事業

共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる0～2歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格者の未就業者の職場復帰、現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等の実施

共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる0～2歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格者の未就業者の職場復帰、現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等の実施

ア センターの運営と啓発

あ 専門相談員の配置

- ・再就職支援コーディネーター1名（保育士）

い 啓発

- ・業務案内リーフレットの作成 4,500部（保育所、ハローワーク等に送付）
- ・ポスターの作成700部（子育て支援センター、小児科医院、大規模店舗、コンビニエンスストア等に送付）

イ 相談業務と就職あっせん

- ・求職相談件数1,187件

内訳：現役274、潜在630、学生160、栄養士・調理士72、看護師13、無資格者等38

- ・求人相談件数1,555件

内訳：求人312、採用活動435、応募者225、雇用条件477、職場説明会等33、スカウト5、制度14、職員養成54

- ・事業所登録数112か所、内訳：市町村10、民間102

- ・登録求人件数824件、登録求人数1,852人

- ・登録求職者数309人

内訳：現役27人、潜在73人、学生201人、該当資格無2人、栄養士2人、調理師2人、看護師2人

- ・届出者数13人

- ・スカウトサービス 指名件数5件、指名人数5人

- ・職場見学者数96人、職場体験者数5人

- ・紹介者数110人

- ・採用者数105人 内訳：現役15人、潜在45人、学生40人、無資格者1人、看護師1人、栄養士1人、調理員2人

ウ 再就職支援研修会

i) 保育所（園）・認定こども園等における雇用管理と人材育成・定着セミナー

平成31年1月16日（水）・17日（木） 富山県総合情報センター

参加者：理事長・園長 1/16 24名、1/17 24名

1日目 講義「保育所（園）・認定こども園等における雇用管理のポイント」

2日目 講義「人財育成・定着のポイント」

講師 ワールドワイド 代表取締役 池田 東史雄 氏

ii) 保育士就職支援研修会

平成31年1月30日（水） サンシップとやま

参加者：潜在保育士、保育に興味のある方等14名

講義「ストレス対処法」 講師 臨床心理士 坂本 美奈子 氏  
ティータイム

実技「身近なものを使ったおもちゃ作り」

講師 富山県こどもみらい館 館長 藤田 美貴雄 氏

#### エ 職場説明会

福祉のお仕事フェア in TOYAMA【児童・保育】

平成30年8月11日(土・祝) 富山国際会議場

参加者：103人 参加法人：51(48ブース)

我が事業所紹介 同会場 参加者：93人 紹介事業所：6

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介

保育の出前 1か所

### ⑦ 働きやすい職場づくりのための取り組みの推進

ア 独立行政法人福祉医療機構退職手当共済事業の事務受託

イ 社会福祉法人福利厚生センター(通称：ソウェルクラブ)受託事業の実施

会員交流事業の実施(20企画)、企画情報会議の開催(2回)、加入勧奨活動、その他会員情報サービスの提供

## (2) 就労支援ネットワークづくり

### ① 人材確保相談事業

他機関の実施する職場説明会において、福祉職場・資格取得等に関する相談に応じたほか、養成施設・事業所等への訪問・相談等の実施

福祉職場説明会 6件、介護の日フェスティバル 3件

介護の職場就職説明会(5回開催 富山市) 7件

訪問 19か所(内訳：事業所 12、職業訓練校 7)

### ② 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

福祉人材確保対策会議の開催

福祉・労働関係の機関・団体と連携して現状の分析を行うとともに、より効果的な方策を協議

ア 会議(2回)

・第1回 平成30年8月24日(金)、高志会館、参加委員：19名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査の報告について」

・第2回 平成31年2月22日(金)、県民会館、参加委員：17名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

イ ワーキンググループ(2回)

・第1回 平成30年8月3日(金)、富山県民会館、参加委員：25名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査の報告について」

- ・第2回 平成31年2月6日(水)、サンシップとやま、参加委員：22名  
協議「福祉人材確保の取り組み等について」  
「構成団体・市町村における取り組み等について」

### ③ 介護福祉士等修学資金貸付事業

介護福祉士等養成施設に在学する学生を修学資金の貸付けにより支援し、また、介護業務に再就職する人を離職介護人材再就職準備金の貸付けにより支援

ア 介護福祉士または社会福祉士養成施設など入学者（従来枠）及び介護福祉士実務者養成施設の在学者（実務者研修枠）

- i) 募集 養成施設に募集要項の送付
- ii) 審査会 平成30年6月27日(水)、サンシップとやま、参加委員：4名  
書面審査 平成30年11月 実務者研修枠（秋季募集分）、  
高校3年生の内定制度（平成31年度入学生）

iii) 貸付実績

(従来枠)

修学費 50,000円以内/月、入学準備金 200,000円、  
就職準備金 200,000円、生活費加算（個別金額）、  
介護福祉士国家試験受験対策費 40,000円/年

(実務者研修枠) 200,000円以内

申請：従来枠 43名、実務者研修枠 8名

決定：従来枠 42名、実務者研修枠 6名

貸付：従来枠 42名、実務者研修枠 6名

合計貸付人数：従来枠 71名、実務者研修枠 6名

(継続：従来枠 29名、新規：従来枠 42名、実務者研修枠 6名)

貸付人数累計（平成21年度～平成30年度）

従来枠 264名、実務者研修枠 19名

iv) 高校3年生の内定制度（平成31年度入学生）

修学費 50,000円以内/月、入学準備金 200,000円、  
就職準備金 200,000円、生活費加算（個別金額）、  
介護福祉士国家試験受験対策費 40,000円/年

申請：17名

内定：17名

イ 介護業務に再就職する者

i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付

ii) 貸付実績

金額：400,000円以内

新規申請・決定・貸付：6名、累計貸付人数 36名

### ④ 保育補助者雇上貸付・潜在保育士再就職支援事業

保育補助者雇上事業、未就学児を持つ潜在保育士に対する保育所復帰支援事業、潜在保育士の再就職支援事業

i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付

ii) 貸付実績

- ・保育補助者雇上費貸与  
金額：年額 2,953,000 円以内  
新規申請・決定・貸与：3 件、継続貸与中：3 件、累計貸与件数：7 件
- ・未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸与  
金額：保育料の半額（月額 27,000 円以内）  
新規申請・決定・貸付：18 名、累計貸与人数：25 名
- ・潜在保育士就職準備金貸与  
金額：200,000 円以内  
新規申請・決定・貸付：28 名、累計貸与人数：45 名

⑤ 児童養護施設退所者等貸付事業

就職者等への家賃貸付、進学者への家賃・生活費貸付、資格取得希望者への資格取得貸付

i) 募集 児童養護施設等に案内チラシ等を送付

ii) 貸付実績

- ・生活支援費貸与  
金額：月額 50,000 円  
新規申請・決定・貸付：1 名、継続貸与中：1 名、累計貸与人数：2 名
- ・家賃支援費貸与  
金額：生活保護上の住宅扶助月額  
(例 平成 30 年度 富山市 1 人 33,000 円)  
新規申請・決定・貸付：1 名、継続貸与中：1 名、累計貸与人数：2 名
- ・資格取得支援費貸与  
金額：250,000 円（1 回限り）  
新規申請・決定・貸付：1 名、累計貸与人数：4 名

(3) 福祉・介護職場のイメージアップ

① 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取組み

ア 高校生等の福祉の魅力体験バスツアー

高校生、進路指導担当教員に対し、職場体験を通じて福祉職場の魅力ややりがいを理解し、進路の選択に生かしていく機会を提供

内容 施設見学、仕事体験、職員の話、利用者との交流等

- ・富山①会場 平成 30 年 7 月 26 日（木）、富山市周辺の特養 3 か所 24 名
- ・富山②会場 平成 30 年 7 月 31 日（火）、富山市周辺の特養 3 か所 27 名
- ・高岡①会場 平成 30 年 8 月 6 日（月）、高岡市周辺の特養 3 か所 30 名
- ・新川会場 平成 30 年 8 月 8 日（水）、魚津市内・黒部市周辺の特養 2 か所 6 名
- ・高岡②会場 平成 30 年 8 月 22 日（水）、高岡市周辺の特養 3 か所 14 名
- ・合計 101 名
- ・参加者進路調査 3 年生 38 名中 福祉野進学者と福祉分野就職者 27 名

イ 親子夏休み福祉の仕事バスツアー

小学生とその保護者を対象に、福祉施設での仕事の体験を通じて、施設や利用者を身近な存在としてとらえ、働く人や仕事について理解を深める機会を提供

内容 施設見学、福祉用具、利用者の誘導、体操、おやつ作り、働く人の話等

- ・東部会場 平成30年7月30日(月)、特養2か所 18名
- ・西部会場 平成30年8月1日(水)、特養1か所 22名
- ・合計 40名

#### ウ がんばる介護職員応援事業

##### i) がんばる介護職員の表彰(通称:介護のがんばりすと2018)

福祉・介護の現場で元気にがんばっている職員を掘り起こして、表彰・紹介することにより、職員のモチベーションの向上と、介護の仕事に対するマイナスイメージの払拭、社会的評価の向上を推進

- ・対象 勤続5年以上10年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者
- ・推薦 25事業所から25名あり(584法人、1,988か所へ依頼)
- ・選考委員会 平成30年9月3日(月) 県教育文化会館 参加委員:5名
- ・表彰式 平成30年11月11日(日) グランドプラザ  
「介護の日フェスティバル」内にて
- ・交流研修会 平成30年11月11日(日) ファーストバンク・キラリホール 23名  
交流テーマ「アンガーマネジメント」  
指導 臨床心理士 坂本 美奈子 氏

##### ii) 経験談を新聞紙面に掲載

期日 平成30年11月10日(土)、北日本2頁、読売・富山全5段  
内容 介護のがんばりすと2018の手記、介護の日のイベント案内

##### iii) 啓発用小冊子の作成・配布

新聞紙面を再構成した小冊子を県内の全高校1年生10,023名に配付  
作成部数:15,000部

##### iv) イメージアップ・テレビCMの制作

ホームヘルパーの日編(8/4~10 7日間)、民放3局、15秒、165本  
介護フェス編(11/4~10 7日間)、民放3局、15秒、165本  
放映終了後もウェブサイトで開催期間限定(H31/3/31まで)で公開

##### v) 学生や若手職員へのPR活動支援(介護のがんばりすと)

テレビCM出演、高校生との交流、他分野からの転職者への助言、  
合同入職式でのメッセージ、同交流会での相談対応 等

#### エ 介護の日の啓発活動

介護を身近なものとしてとらえ、それぞれの立場で考えていくため、関係機関・団体等が連携して開催するイベント「介護の日フェスティバル」の実施に協力

- ・実行委員会への参加 7回(構成:事業所団体、職能団体、養成校、行政など)
- ・イベントへの参加 平成30年11月11日(日) グランドプラザ  
「福祉のお仕事」相談コーナー開設 相談3件

## ② 福祉・介護職場の魅力発信事業

マスメディア等を活用して福祉・介護職場の魅力を広く発信するため、取材施設の選定を行った。

きときとねりんクイズ(北日本放送ラジオ) 年間24回放送(月2回)予定

内容:職員インタビュー(介護のがんばりすと等)、利用者によるクイズ解答  
進行役 漫オコンビ フィッシュ&チップス

#### (4) 委員会等の開催

運営委員会 (1回)

平成31年1月31日(木) サンシップとやま

## 2 研修実施や資格取得の促進を通じたキャリアパスの構築

#### (1) 委員会等の開催

- ① 富山県福祉カレッジ研修カリキュラム検討分科会 平成31年1月16日(水)
- ② 富山県介護機器普及事業運営分科会 平成31年1月24日(木)
- ③ 富山県福祉カレッジ運営委員会 平成31年1月31日(木)

#### (2) 福祉カレッジ研修事業の実施

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施

(53コース、受講者実人員8,053名)

##### ① ソーシャルワーク研修

専門多職種連携、地域福祉(活動推進)計画及び総合相談支援セミナー、相談援助技術研修、子育て支援研修

##### ② ケアワーク研修

福祉用具体験講座Ⅱ、らくらく介護講座、介護技術向上研修、腰痛予防推進研修(腰痛予防研修・フォローアップ研修・リフトリーダー養成研修)、腰痛予防指導者育成研修(基礎研修・フォローアップ研修)、腰痛予防対策取組み事例報告会、腰痛予防対策介護研修、腰痛予防推進[出前講座]、富山型デイサービス職員研修会、施設訪問中堅リーダー研修、介護職員リスクマネジメント研修、認知症ケア研修(初級編・応用編)、観察の視点を活かした介護記録研修、介護職員のためのターミナルケア研修

##### ③ 福祉職員キャリア支援研修・福祉サービス経営研修

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員研修

福祉職能団体の協力を得て、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程研修の県内講師を3名養成した。

##### ④ 福祉サービス経営研修

福祉サービス経営セミナー、中堅保育職員研修

##### ⑤ 目的課題別研修

福祉用具体験講座Ⅰ(一般県民)、小中高生の介護講座、福祉用具・住宅改修研修、福祉用具プランナー研修、乳幼児(0,1,2歳児)保育研修、障害児保育研修、ハートフル保育普及研修会(初任者研修)、職場研修担当者研修、職場研修ステップアップ研修、おもてなしアップ・クレーム対応研修、福祉職員コーチング研修、新任職員接遇・コミュニケーション研修、福祉職員アクティブ・ワーキング研修(一般職員編・指導者編)、ホームヘルパー技術向上研修、サービス提供責任者研修、障害者(児)ホームヘルパー等養成研修、強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)、福祉サービス第三者評価評価調査者継続研修、富山型デイサービス起業家育成講座、介護支援専門員更新・再研修、介護支援専門員実務研修

### (3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業

#### ① 富山県介護支援専門員実務研修受講試験の試験実施機関の指定

平成 28 年 2 月 5 日に県から試験実施機関の指定を受けて同試験事務を実施  
3 月 31 日をもって試験指定実施機関の指定期間が満了するところ、2 月 18 日付けで  
再指定申請書を提出し、3 月 8 日付けで再指定(4 月 1 日から 3 年間)。

#### ② 平成 30 年度富山県介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験実施日：平成 30 年 10 月 13 日(日)  
試験会場：サンシップとやま、富山県農協会館  
出願数 523 名、受験者数 455 名、合格者数 44 名(合格率 9.7%)

## 3 福祉・介護機器活用による職場の活性化とスキルアップ

### (1) 効果的な福祉・介護機器の活用支援

#### ① 福祉・介護機器の展示・相談、貸出、情報提供

- ア 展示場・モデルルームでの展示及び相談体制の整備  
展示品：811 点、来所者数：857 名、相談者数：417 名、相談件数：570 件
- イ 適合評価を目的とした専門職への貸出事業の実施  
貸出件数：70 件
- ウ ホームページ及び広報誌への掲載による情報提供

#### ② 福祉・介護機器の理解・活用促進に繋がる研修及びイベントの開催

- ア 福祉用具活用講座Ⅰ(一般県民対象) 参加者：422 名(23 回)
- イ 福祉用具活用講座Ⅱ(福祉関係者対象) 参加者：819 名(37 回)
- ウ 小・中・高生の介護講座 参加者：740 名(23 回)
- エ らくらく介護講座(福祉関係者対象) 参加者：269 名(7 回)
- オ 介護技術向上研修(排泄編・排泄技術編) 参加者：80 名
- カ 第 12 回福祉用具の展示会の開催(ねんりんピックとやま 2018 と共催)  
平成 30 年 11 月 3 日(土)～5 日(月) 富山市総合体育館第 1 アリーナ親水広場  
出展メーカー：27 社 来場者：21,564 名
- キ 福祉用具・アイデアコンクールの開催 応募作品数：112 点 受賞作品数：24 点
- ク 第 2 回富山県福祉機器活用推進大会の開催  
平成 30 年 11 月 17 日(土) サンシップとやま 参加者：87 名

#### ③ 住宅改修に関する相談事業の実施

- 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業
- ア 福祉用具・住宅改修支援連絡協議会の開催  
平成 31 年 1 月 11 日(金) サンシップとやま 出席者：14 名
- イ 専門相談員の登録(相談員の発掘と資質向上)  
登録相談員：10 名
- ウ 福祉用具・住宅改修の相談・充実  
所内相談・出張相談総数：178 件(延べ 273 件)

- エ 福祉用具・住宅改修に関わる関係者の資質の向上（研修等の実施）
  - ・福祉用具・住宅改修研修（基礎研修）
    - 福祉用具・住宅改修に関する基礎知識の習得を目的として実施
    - <第1回>平成30年5月9日（水）、16日（水）、23日（水）
    - サンシップとやま 受講者：32名
    - <第2回>平成30年6月13日（水）、20日（水）、27日（水）
    - サンシップとやま 受講者：31名
  - ・福祉用具・住宅改修研修（福祉用具研修）
    - 利用者に適した福祉用具の選定や活用方法の習得を目的として実施
    - 平成30年7月13日（金）、20日（金）、8月1日（金）サンシップとやま
    - 受講者：19名（延べ128名）
  - ・住宅改修事業者研修（基礎編）
    - 住宅改修事業者を対象に福祉用具や住宅改修に関する知識の習得を目的として実施
    - <第1回>平成30年8月23日（木）サンシップとやま 受講者：25名
    - <第2回>平成30年8月30日（木）サンシップとやま 受講者：22名
  - ・住宅改修事業者研修（応用編）
    - 住宅改修事業者を対象に、事例による住宅改修プランニングの演習を行う
    - 平成30年9月13日（木）サンシップとやま 受講者：24名
- オ 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業の広報（関係機関及び関係者）
  - ・福祉用具・住宅改修出張相談事例集の作成・配布
  - ・パンフレットの作成・配布
  - ・関係機関に対する相談ニーズ調査の実施

## （2）福祉・介護機器を活用した介護技術研修の実施と指導者の育成支援

### ① 介護技術向上のための研修の実施

利用者の特性や能力に適した福祉・介護機器の選定を支援し、利用者・介助者双方にとって安全で安楽な介護の知識と技術の普及・定着を推進する。

- ア らくらく介護講座の実施
- イ 介護技術向上研修の実施
- ウ 福祉用具・住宅改修研修の実施
- エ 福祉用具プランナー研修の実施

### ② 腰痛予防対策推進研修の実施

#### ア 腰痛予防研修会

介護職員の腰痛予防のために必要な知識・技術を習得し、職場での腰痛予防対策を推進するための研修を実施

- ・第1回 平成30年5月31日（木）6月1日（金） サンシップとやま 参加者：38名
- ・第2回 平成30年6月7日（木）、8日（金） サンシップとやま 参加者：35名

#### イ 腰痛予防フォローアップ研修会

腰痛予防研修修了者のスキルアップを図るための研修を実施

平成30年6月7日（木） サンシップとやま 参加者：12名

#### ウ リフトリーダー養成研修会

介護職員の腰痛予防と利用者の安全な移乗のために、リフトを使用した介助方法を指導できる人材を養成するための研修を実施

- ・第1回 平成30年9月4日(火)、5日(水) サンシップとやま 参加者：19名
- ・第2回 平成30年9月4日(火)、6日(木) サンシップとやま 参加者：18名

#### エ 腰痛予防指導者育成研修会

福祉施設において、介護職員の腰痛予防対策が推進できるように、指導者を育成するための研修を実施

- ・基礎研修：施設利用者個々に対応できる介助技術と職員への指導方法の習得
  - <A・Bコース>平成30年6月18日(月)、7月5日(木)、19日(木)、8月2日(木)  
サンシップとやま 受講者：16名
  - <C・Dコース>平成30年6月18日(月)、7月2日(月)、23日(月)、8月6日(月)  
サンシップとやま 受講者：16名
- ・フォローアップ研修：基礎研修修了者の施設に出向き、受講者の指導力を高める
  - 特別養護老人ホームソレイユ：平成30年8月22日(水)
  - 特別養護老人ホームあんの里：平成30年8月29日(水)
  - 特別養護老人ホームアルテン赤丸：平成30年8月20日(月)
  - 特別養護老人ホームだいが苑：平成30年8月27日(月)、9月25日(火)、10月22日(月)
  - 特別養護老人ホーム七美ことぶき苑：平成30年9月20日(木)、10月4日(木)
  - 特別養護老人ホーム越野荘：平成30年9月27日(木)、10月18日(木)
  - 特別養護老人ホームほのぼの苑：平成30年9月18日(火)、10月1日(月)
  - 受講者：32名 参加者：延べ128名

#### オ 腰痛予防取組み事例報告会

腰痛予防の取組みに関して、事例報告会や意見交換会を開催することで、他施設への腰痛予防対策の普及・定着を図るために実施

平成30年11月10日(土) サンシップとやま 参加者：62名  
 コーディネーター 金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏  
 助言者 地域リハビリ支援室・タムラ代表 田村 茂 氏  
 特別講演

特別養護老人ホームウエルプラザ洋寿荘 副施設長 黒岩 賀永 氏  
 森ノ宮医療大学保健医療学部  
 大学院/保健医療学部研究科 博士 上田 喜敏 氏

シンポジスト

特別養護老人ホームあんの里 施設長 大崎 雅子 氏  
 特別養護老人ホームささづ苑 施設長 岩井 広行 氏

#### カ 平成30年度 腰痛予防特熱講演会

富山県内の介護施設職員等を対象に介護現場における腰痛予防を普及・促進するため、腰痛予防の重要性について広く理解を図る。

平成31年2月8日(金) サンシップとやま 参加者：62名  
 愛知医科大学病院学際的痛みセンター教授 牛田 淳宏 氏

#### キ 腰痛予防推進〔出前講座〕

これから腰痛予防に取り組もうとする介護施設・事業所等へ講師が出向き、利用者の自立を引き出す介護技術を指導することにより、職員の腰痛予防意識の高揚や行動の変容の促進を目的に実施

三輪病院：平成 30 年 8 月 22 日（水）参加者：21 名

特別養護老人ホームこぶし園：平成 30 年 8 月 23 日（木）参加者：41 名

新川老人福祉会新川ヴィーラ：平成 30 年 9 月 12 日（水）参加者：18 名

特別養護老人ホーム晴風荘：平成 30 年 9 月 14 日（金）参加者：11 名

砺波市社会福祉協議会砺波市北部デイサービスセンター

：平成 30 年 9 月 20 日（木）参加者：29 名

特別養護老人ホームのむら藤園苑：平成 30 年 9 月 26 日（水）参加者：24 名

### ③ 腰痛予防対策推進施設の指定・支援

指定施設：（新規）特別養護老人ホーム七美ことぶき苑（射水市）

特別養護老人ホームつまま園（氷見市）

（継続）特別養護老人ホームあんどの里（魚津市）

特別養護老人ホームだいが苑（高岡市）

特別養護老人ホーム越野荘（黒部市）

特別養護老人ホームほのぼの苑（氷見市）

特別養護老人ホームソレイユ（富山市）

特別養護老人ホーム福寿園（南砺市）

特別養護老人ホームきらら（南砺市）

特別養護老人ホームささづ苑（富山市）

介護老人保健施設城端うらら（南砺市）

介護老人保健施設みどり苑（富山市）

腰痛予防対策介護研修

特別養護老人ホームきらら：参加者 3 名（2 施設）

特別養護老人ホームささづ苑：参加者 6 名（3 施設）

特別養護老人ホームソレイユ：参加者 1 名（1 施設）

特別養護老人ホーム越野荘：参加者 5 名（3 施設）

特別養護老人ホームほのぼの苑：参加者 3 名（2 施設）

特別養護老人ホームあんどの里：参加者 3 名（3 施設）

特別養護老人ホームだいが苑：参加者 5 名（4 施設）

介護老人保健施設城端うらら：参加者 2 名（1 施設）

介護老人保健施設みどり苑：参加者 1 名（1 施設）

## 【推進項目6】

### 利用者本位による福祉サービスの選択と福祉サービスの質の向上

家族形態・地域社会の変容に伴い福祉ニーズが多様化・複雑化する中、福祉サービス事業者には、「利用者本位」を基本とした質の高い福祉サービスの提供が求められています。

そのため、利用者の権利擁護を重視しながら、利用者・家族への適切な対応や地域の社会資源を活かしたサービス提供等がなされるよう、事業者における自己評価・外部評価の実施や広く住民等への情報公表を行いました。

#### 1 福祉サービスの見える化と質の向上

##### (1) 福祉サービス第三者評価事業の実施

###### ① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 21件

###### ② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

障害者施設 1件

児童福祉施設（保育所） 5件

###### ③ 福祉サービス評価・公表事業運営委員会の開催

第1回 平成30年6月26日（火） サンシップとやま

第2回 平成30年9月4日（火） 富山県教育文化会館

第3回 平成30年10月4日（木） サンシップとやま

第4回 平成30年11月20日（火） 富山県教育文化会館

第5回 平成30年12月25日（火） 富山県教育文化会館

第6回 平成31年2月8日（金） サンシップとやま

第7回 平成31年3月14日（木） サンシップとやま

###### ④ 評価調査者の登録

登録者 31名（平成31年3月末日現在）

###### ⑤ 評価調査者研修の開催

平成31年3月12日（火） 富山県教育文化会館 参加者：12名

講義「福祉サービス第三者評価の現状と評価調査者の役割」

演習「福祉サービス第三者評価基準の理解とコメント作成の実際」

講師 NPO法人福祉経営ネットワーク 常任理事・事務局長 岡田 賢宏 氏

##### (2) 利用者の福祉サービスの選択

介護サービス情報の公表事業の実施

・指定情報公表センターの運営

「平成30年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務

報告受理事業所 1,796件（平成30年10月～平成31年3月）

調査事業所 174件（平成30年11月～平成31年3月）

公表事業所 1,796件（平成30年10月～平成31年3月）

・新規事業所説明会の開催 2回

第1回 平成30年9月5日（水） サンシップとやま

第2回 平成31年1月30日（水） サンシップとやま

- ・公表事業運営委員会の開催
  - 第1回 平成30年10月4日(木) サンシップとやま
  - 第2回 平成31年3月14日(木) サンシップとやま
- ・指定調査機関の運営
  - 調査対象事業所への訪問調査実施 64件
- ・調査員の登録
  - 登録者36名(平成31年3月末日現在)

### (3) 福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

#### ① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

- 第1回 平成30年6月21日(木) 富山県教育文化会館
- 第2回 平成30年10月25日(木) サンシップとやま

#### ② 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

##### ア 苦情解決部会の開催(年6回)

- 第1回 平成30年4月19日(木) サンシップとやま
- 第2回 平成30年6月21日(木) 富山県教育文化会館
- 第3回 平成30年8月23日(木) サンシップとやま
- 第4回 平成30年10月25日(木) サンシップとやま
- 第5回 平成30年12月20日(木) サンシップとやま
- 第6回 平成31年2月28日(木) サンシップとやま

##### イ 苦情解決に必要な助言、相談、調査

苦情・相談受付件数：46件

##### ウ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、リーフレット2,000部、福祉事業所等における苦情解決の手引き配布による広報啓発
- ・ 苦情解決体制整備状況アンケートの実施
  - 対象：771法人、回答数：425法人、回答率：55.1%
  - 内容：苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員の設置状況等
- ・ 苦情解決体制整備について巡回訪問指導の実施
  - 対象：福祉サービス事業新規参入法人他 11法人

##### エ 苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員の研修会開催

- ・ 苦情受付担当者研修会の開催
  - 平成30年11月30日(金) ボルファートとやま 参加者：252名
  - 講義・演習「福祉サービスにおける苦情の意義と対応」
  - 講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 准教授 川上 富雄氏

#### ③ 日常生活自立支援事業の運営監視

##### ア 運営監視部会による現地調査の実施

平成30年7月30日～8月9日 対象：5市町社協(富山市、高岡市、射水市、立山町、朝日町)

##### イ 運営監視部会の開催

平成30年9月12日(水) サンシップとやま  
協議事項：実施状況、現地調査結果、現地調査報告

## 【推進項目 7】

### 地域福祉推進のための組織基盤の強化

富山県社協は地域福祉推進を目的とする公益かつ広域的な組織として、社会福祉関係者や住民等と連携を図りながら、県内の様々な福祉・生活課題に対応してまいります。

多種多様な事業を効果的に展開していくために、適正な業務執行体制の確立を図るとともに、人材育成や民間財源の適切な活用、自主財源の確保、調査研究や情報発信機能の強化など、組織基盤の強化を図りました。

#### 1 経営・財政基盤の強化

##### (1) 第4次県社協活動推進計画の推進

第4次活動推進計画策定後2年目の進行管理のため、評価委員会を立ち上げ、昨年度の事業の進捗状況の確認ならびに、社会情勢の変化や社会福祉の動向等に伴う新たな地域生活課題を把握し、現計画の見直しや今後事業展開していく上での方向性等について協議を行った。

平成30年10月31日(水) サンシップとやま

##### (2) 適正な業務執行体制の確立

###### ① 役員会等の開催状況

会議名	開催日	主な審議事項	
正副会長会議	第1回	30.5.31	第2回理事会、第2回評議員会の開催について
	第2回	31.3.18	第5回理事会、第4回評議員会の開催について
理事会	第1回	30.5.11(書面)	評議員会の招集、理事及び監事候補者の選定
	第2回	30.6.7	29年度事業報告・決算、評議員選任・解任委員の選任、評議員候補者の選定、定時評議員会の招集、会長及び専務理事の職務執行状況報告ほか
	第3回	30.10.19(書面)	評議員会の招集、理事候補者の選定
	第4回	31.2.20(書面)	評議員会の招集
	第5回	31.3.28	補正予算、31年度事業計画・予算、一時借入金案、資金運用方針案、就業規則の一部改正、役員候補者の選定、会長及び専務理事の職務執行状況報告ほか
評議員会	第1回	30.5.22(書面)	理事及び監事の選任
	第2回	30.6.28	29年度事業報告・決算
	第3回	30.11.1(書面)	理事の選任
	第4回	31.3.28	補正予算、31年度事業計画・予算、役員の選任
監事会		30.5.28	平成29年度業務執行状況及び財産状況の監査
評議員選任・解任委員会	第1回	30.6.15(書面)	評議員の選任

##### (3) 社協活動の推進に向けた市町村社協との協議

###### ① 市町村社協会長会議の開催

平成30年7月26日(木) パレブラン高志会館  
情勢報告・意見交換会

###### ② 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

平成31年2月27日(水) サンシップとやま  
情勢報告・次年度事業及び予算説明・情報交換等

#### (4) 会員施設・事業所、賛助会員の加入促進

平成 31 年 3 月末現在会員状況

正会員：1,101 施設・団体 賛助会員：159 団体・個人

#### (5) 多様な民間財源・基金の活用と自主財源の確保

##### ① 基金運営委員会の開催

平成 31 年 3 月 5 日(火) サンシップとやま

報告事項 基金の積立・運用及び収益金の状況について

審議事項 平成 31 年度の基金収益金の配分案について

##### ② 研修受講料の徴収

##### ③ 図書斡旋による手数料収入の確保

## 2 情報収集と発信機能の強化

#### (1) 第 67 回富山県社会福祉大会の開催

県内福祉関係者が一堂に集まり、地域福祉活動の一層の充実・拡大に向けた大会宣言や大会決議の採択を行ったほか、福祉の発展に功績のある方への表彰ならびに記念講演を行った。

平成 30 年 10 月 18 日(木) 富山県民会館

記念講演「地域共生社会づくりの課題と展望 ～私たちの役割を考える～」

講師 同志社大学社会学部 社会福祉学科 教授/富山県福祉カレッジ客員教授

上野谷 加代子 氏

#### (2) 福祉・生活課題の解決に向けた提言活動の推進

県福祉関係施策及び平成 31 年度県予算に関する要望書を平成 30 年 11 月 22 日に県・関係方面へ提出した。

#### (3) ウェブサイトや広報誌等の効果的活用による情報発信機能の強化

##### ① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

##### ② 広報誌「福祉とやま」の発行

- ・ 広報誌「福祉とやま」(奇数月に各 12,000 部発行)

#### (4) 各種助成金情報の提供

福祉関連の助成金情報についてウェブサイトに掲載し、広く周知するとともに助成金の問い合わせがあれば随時紹介・案内を行った。

## 3 組織体制の強化

#### (1) 事務局体制の強化と職員の専門性や資質向上に向けた取組みの推進

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加

- ・都道府県・指定都市社協中堅職員研修会（3名）
- ・社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座（入門研修会・初級コース）受講（1名）

## （2）危機管理体制の充実

災害時初動対応計画・事業継続計画（BCP）を改訂し、県内で大規模災害が発生した場合に、職員がとるべき初期行動と、限られた人員や設備で早期に業務に態勢復旧し、本会業務の中断を最小限に止めるために必要な取組みについて見直しを行った。

## （3）指定管理者としての富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の機能強化

- ① 施設の指定管理業務を富山県から受託
- ② 指定管理期間（第4期 1年目）：2018年4月1日～2023年3月31日（5年間）
- ③ 施設の利用状況
  - ・研修室等利用率 37.71%（前年比 Δ1.58%）
  - ・利用料収入 34,551千円（前年比 +0.99%）
  - ・減免団体利用率 84.70%（前年比 Δ0.15%）

## 平成30年度事業報告附属明細書

平成30年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。